

2024年度

明海大学

総合型選抜（A0）B日程

分析力テスト

（試験時間 60 分）

注 意 事 項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 試験終了後、この問題用紙は回収しますので、表紙と問題は切り離さないでください。また表紙には受験番号・氏名を忘れずに記入してください。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 解答は必ず HB か B の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
5. 解答用紙に志望学科・受験番号・氏名を忘れずに記入してください。また、解答は横書きで記入してください。
6. 問題の印刷に不鮮明な箇所などがあった場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

受験番号					
氏 名					

日本の人口動態を表す図（図1、図2、図3）や海外の少子化対策に関する文章（資料1）を読み、問いに解答しなさい。

以下の図1は、日本の出生率と合計特殊出生率の推移を示したものである。

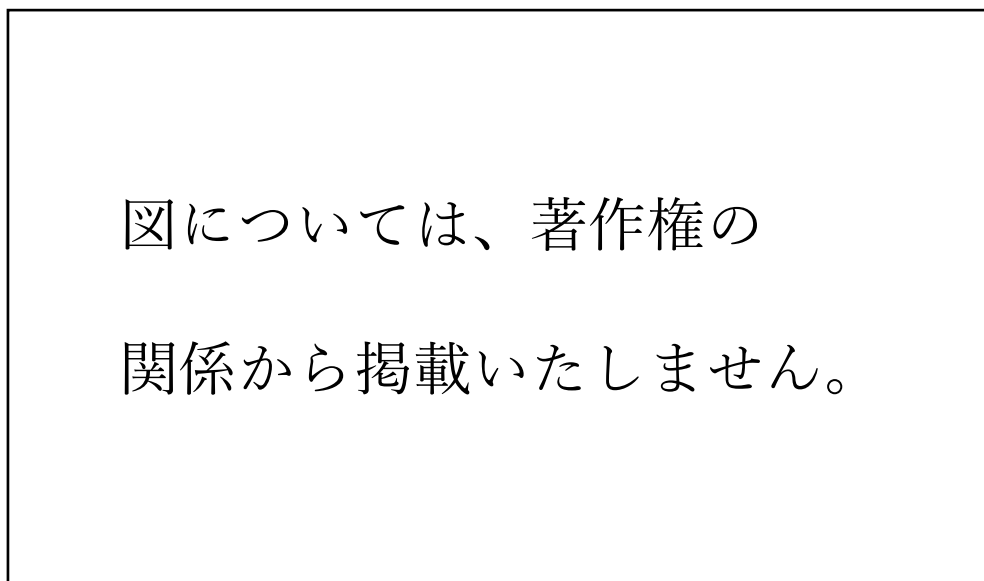
図については、著作権の
関係から掲載いたしません。

資料 厚生労働省「人口動態統計」

※「合計特殊出生率」とは、15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したものである。
一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

図1 出生率と合計特殊出生率の推移（「図説 国民衛生の動向 2022/2023」）

以下の図2は、日本の母親の年齢別にみた出生率の年次比較を示したものである。

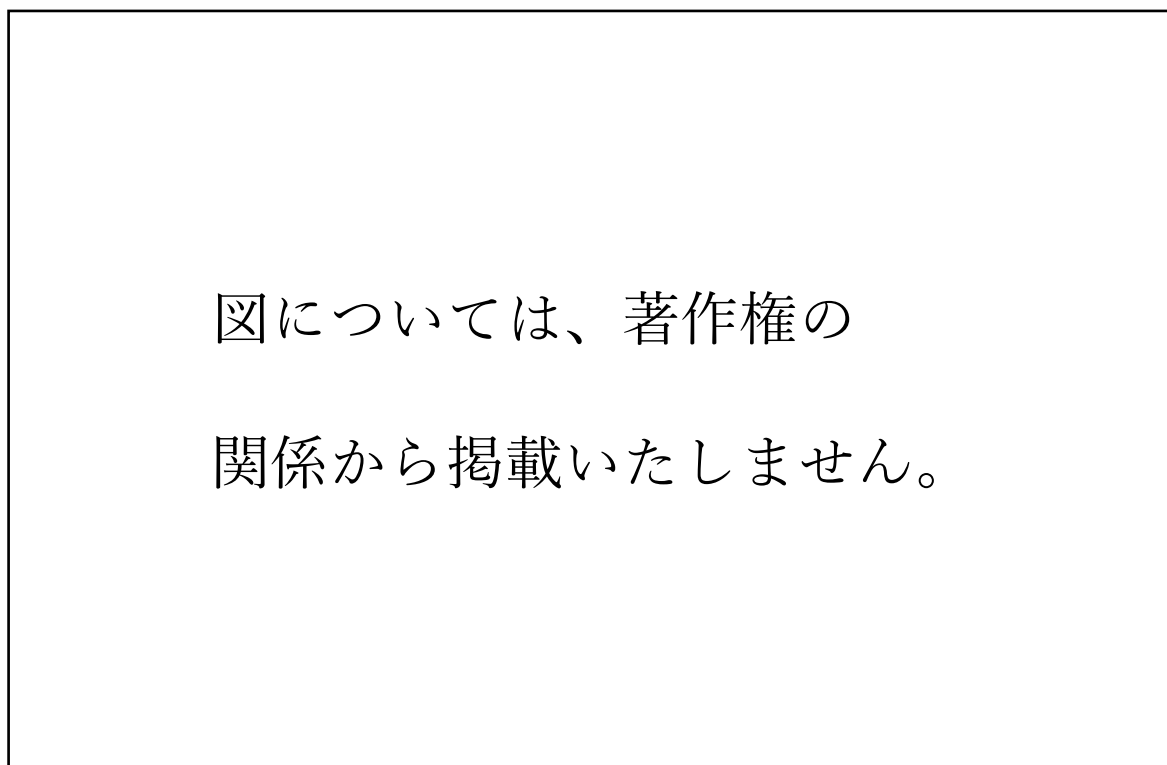


図については、著作権の
関係から掲載いたしません。

注 出生率は、厚生労働省「人口動態統計」と総務省「国勢調査資料 厚生労働省「人口動態統計」を基に、厚生労働統計協会で算出

図2 母親の年齢別にみた出生率の年次比較（「国民衛生の動向 2022/2023」）

以下の図3は、諸外国の合計特殊出生率の動きを示したものである。



図については、著作権の
関係から掲載いたしません。

図3 諸外国の合計特殊出生率の動き（欧米）（内閣府「令和4年版 少子化社会対策白書」）

以下の資料 1 の文章は、フランスとスウェーデンの少子化対策に関する「日経ビジネス」の記事を一部再構成したものである。

(中略)

資料については、著作権の
関係から掲載いたしません。

(日経ビジネス電子版 2022 年 11 月 2 日の記事を再構成)

資料 1 「出生率上げたフランス、スウェーデン 国が支援」

- 問1 図 1 から、日本の出生率の推移の特徴について、読み取れることを述べなさい。
(100 字以内)
- 問2 図 2 から、母親の年齢別出生率について、読み取れることを述べなさい。(100 字以内)
- 問3 図 3 から、フランスとスウェーデンの出生率の動きについて、読み取れることを述べなさい。
(150 字以内)
- 問4 資料 1 から、フランスとスウェーデンの少子化対策について、その要点を説明しなさい。
(200 字以内)
- 問5 資料 1 を読んで、日本がとくにフランスとスウェーデンの少子化対策から見習うべき点は何か。あなたの考えを述べなさい。(250 字以内)

分析力テストの採点のポイント

問1 (15点)

図の表記から第1次ベビーブームの昭和24年、及び第2次ベビーブームの昭和48年の出生数を正確におさえていることや、昭和50年代後半(1975年頃)から出生数と合計特殊出生率の低下傾向が続いていること。また、令和3年(2021年)の出生数が81万人と過去最低となったことなどに言及していること。

問2 (15点)

昭和から平成、令和と年代を経るにしたがって、母親の出産年齢が上がっていることや、令和2年(2020年)の出生率が昭和55年(1980年)の半分であることに言及していること。

問3 (20点)

1993年から1997年頃にかけてはフランスやスウェーデンも出生率が低かったことや、その後、2010年までに両国の出生率が2.0まで上昇したこと、及び2020年には両国とも再び出生率が低下したことなどに言及していること。

問4 (25点)

字数内で記事内の主要な要点を可能な限り列挙し、まとめていること。

問5 (25点)

資料1から読み取った、フランスとスウェーデンの少子化対策から見習うべき点について考えをまとめ、論理的に整合性がとれていること